

編集後記

伊良湖岬の白波を思い出すことがある。二人の甘い思い出の残影ではなく、学部新入生たちに向かって、国際フィールドワークを説明した際、学生たちの後ろの遠くから勢いよく押し寄せてくる太平洋の大波のことである。フィールドワーク引率の経験談は、眩しい余波が残す磯の白砂に見惚れて、何回も逸れてしまう。でも、強烈な光線が逆光に変わってくれたお蔭で、学生たちや先生たちの表情は闇の中に陥った。フィールドワークと白砂が一つのスクリーンに投影される不思議な記憶はそうやって生成されていた。さて、あの日伊良湖岬の時間を共有する方々が、一人二人定年を迎える。文明21の記念号を作るのは、退職される方々の今までの歩みと残された人々の未来像を吟味し、再構築するがためのものではないか。という局面で、東海の小島の磯の白砂にて蟹と戯れた啄木に、今の心境を訴えたくなるこの頃である。

片 茂永

文明21 愛知大学国際コミュニケーション学会紀要

※愛知大学国際コミュニケーション学会発行の『文明21』に掲載された論文などすべての著作権は、愛知大学国際コミュニケーション学会に所属します。

2020年3月5日 印刷
2020年3月25日 発行 第44号

編集発行 愛知大学国際コミュニケーション学会
〒453-8777 名古屋市東区中村区平池町四丁目60番6
TEL (052) 564-6128 FAX (052) 564-6228
E-mail: aic@vega.aichi-u.ac.jp URL: <http://ic.aichi-u.ac.jp/>

編集発行 株式会社シンプリ
